

2024. 5 月

# 女性チャレンジ応援拠点だより



## コラム『夢をカタチにみちびくコミュニケーション』！

令和6年度もひと月が過ぎました。大型連休もおわり、新年度の事業も本格的に動き出す5月上旬、都市の街路樹の新緑が初々しく、わたしたちの頑張りを励ましてくれているようです。さあ、薫風によって軽やかに、チャレンジなワークとライフをすすめていきましょう。

さて、5月の「女性チャレンジ応援拠点だより」が新年度の初回になりますが、今年度は「コミュニケーション」をメインテーマにあげようと思います。題して、『夢をカタチにみちびくコミュニケーション』。「コミュニケーション」は、情報の伝達から意思の疎通や心の通じ合いといった意味を持ちます。言葉を尽くしても相手の心が動かなかったのに、「背中を見せる」だけで協力的になる、ということも「コミュニケーション」の範疇です。米国ハーバード大学のMBAカリキュラムに「マネジメント・コミュニケーション」を設けて重視しているのも頷けます。それほど考え甲斐のある「コミュニケーション」、なかなか手ごわいテーマですが、チャレンジするあなたに役立つトピックを交えてお届けできるよう、努めていきますね。第一回目はまず、「コミュニケーションのベース」です。

先に、『人間は見えるもの、動くものに反応する。見えない、動かないものには、反応が鈍くなる』（アラン・カーティス・ケイ）を念頭に置いておきましょう。製造工場には必ず安全の標語が掲げてあります。著名ホテルのリッツ・カールトンでは、世界各地の全スタッフが毎日、自分たちの指針を記した「クレド」の同じページを復唱しています。

見える、見せる。これは「コミュニケーション」の重要ポイントといえます。ある考えを共有したい時には、その考えを言葉にして、口頭ではその場限りになる可能性があるの、紙や電子媒体に落とし込む。言葉だけでは理解しにくそうなら、象徴的な絵や図にして言葉に加える。

さらに、工場の安全標語なら、見た目に注意喚起できるように、使う文字の種類は角ばったものにし、色も赤を選び、壁に貼る紙だけでなく、注意がより向くように旗の形状もつくる。ホテルの全スタッフに配布する社是・行動指針のようなものなら、見た目にも格調あるデザインの小手帳または小冊子にし、携帯すること自体に誇りが感じられる形状に仕上げる。

こういう風に趣向をこらしたからといって、誰彼にも響いて、同じように行動できるかというと、そうではないから、「コミュニケーション」をあえてテーマにあげる所以でもあります。何より、わたしたち個々人は想像を絶するほど異質な存在、ある人の考えはその人の価値観の成り立ちから生まれたもので、他者はまたその人なりの価値観の成り立ちがあることから、大なり小なり、コミュニケーションにはギャップが付きもの、ギャップは当然。

「コミュニケーション」を考える時、この「ギャップは当然」ということを感覚的に了解すること、これが最重要課題、一番の試練ではないかと思えますが、いかがでしょう。

といったところで、紙面もなくなってきました。考えれば考えるほど、深みにはまりそうなテーマですが、たくさんの人と関わりながら、自分の夢をカタチにしていくみなさんには、非常に大事なテーマです。一緒に深掘していきましょう。もし具体的なケース、アプローチに直面しているという方は、開室日にお越しください。一緒に考えていきましょう。「女性チャレンジ応援拠点」はあなたのチャレンジを後押しする場です。スタッフ一同、そう努めています。お気軽にご利用ください！

## 女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階  
電話&ファックス：06-7659-9640  
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp  
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館  
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

### 開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

| 火                   | 水                   | 木                   | 金                   | 土                   |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 10:30<br>?<br>12:30 | 18:00<br>?<br>20:00 | 13:00<br>?<br>15:00 | 10:30<br>?<br>12:30 | 13:00<br>?<br>15:00 |

※開室時間内は自由に出入りいただけます。  
お気軽にお立ち寄りください。

